

村を愛し、村を守り続ける

# 消防団として 防災士として 村民として

十津川村には消防士や消防団、防災士などの減災・防災に取り組む地域の人々がいます。

今回は十津川村消防団副団長であり、村で唯一の「防災士」でもある、佐古金二郎さんに、日頃の活動や村への想いについて聞きました。

## 防災士 — 地域をつなぐ —

【防災講演】や【災害図上訓練】、【避難所訓練のリーダー】などの役割を担い、自主防災組織や消防団の活動にも積極的に参加します。

防災士は救命救急や様々な防災知識はもちろん、災害訓練や避難所などで、現場のリーダーとなることも求められます。現在、十津川村の防災士は私しかいませんが、防災士を目指す人が今後増えれば、地域の防災力強化に繋がると感じます。

## 今こそ地域の力が必要

災害に直面したとき、地域住民が協力して「自分たちの地域を自分で守る」組織である自主防災組織が機能するかが重要になってきます。村内にも自主防災組織はありますが、実際に災害が発生した際に機能する組織は少ないと思います。今後は自主防災組織の強化が必要だと感じます。

村民の皆さん一人ひとりができることもあります。例えば、災害が発生したときのために、



十津川村消防団副団長・防災士  
佐古 金二郎さん

十津川村でただ一人、防災士協会に所属する防災士。学校や自治会などで防災・減災の講習などを行い、村民の防災意識向上を目指し奔走している。

## 消防団 — 地域を守る —

【火災・災害発生時の消火・救助活動】や【春・秋の全国火災予防週間のパトロール】、【年末の夜間警戒】など、消防団の活動内容は多岐にわたります。

火災や災害発生時には、仕事中でも現場に駆けつけ、消防職員とともに消火・救助活動に従事します。

「村の命と財産を守る」。これは消防団の使命であり、危険な現場で活動を行う際の、モチベーションにもなります。

家族で集合場所を決める。早めの避難を心がける。そうすれば安否確認をスムーズに行えます。

また、日頃から近隣の人とあいさつやコミュニケーションを図ることで、災害により避難が必要になった場合、お互いに助け合うことが期待できます。

日頃から防災について家族や近隣の人と話してもらえばと思います。

## 【防災士を目指しませんか】

奈良県では自主防犯・防災リーダー研修【防災士養成講座】の参加者を募集しています。申込期限は8月23日(金)までです。

研修の日時や申込方法、その他詳細については左記までお問い合わせください。

「お問い合わせ」

奈良県安全・安心まちづくり推進課

☎0742-222-1101

または0742-27-8576

E-mail: <http://www.pref.nara.jp/6448.htm>

または <http://www.pref.nara.jp/6448.htm>